

弱き者の友たれ

民生委員制度創設100周年記念

小河滋次郎博士

シンポジウム



公益財団法人矯正協会蔵

今年は、笠井信一岡山県知事が、貧困救済制度として創設した「済世顧問制度」から100年となります。また、来年は、郷土の先人小河滋次郎法学博士が、1918年(大正7年)米騒動による社会不安が顕在化する大阪の地において、林市蔵大阪府知事と共に「方面委員制度」を創設してから100年となります。

なお、方面委員は、その後10年で全国に設置され、1936年(昭和11年)には、法制度化されることとなり、現在の民生委員の源流となりました。

小河滋次郎博士顕彰会では、昨年7月の設立以来、「弱き者の友たれ」の信条のもと、官僚として、そして大阪府顧問として先駆的な業績を挙げた小河博士の顕彰を進めています。方面委員制度から100年という節目の年を迎えることを契機に、博士の目指した社会やその現代的な意義を考える機会としてシンポジウムを開催いたします。

日時 平成29年 **10月14日(土)** 午後1時30分から午後4時30分まで

入場無料

会場 **上田文化会館 ホール** (上田市材木町1丁目2番3号)

基調講演

講師 慶應義塾大学名誉教授(法学博士) **小野 修三氏**

演題 **弱き者の友たれ**

～小河滋次郎博士の生涯～ [4部構成]

- 1 若き日の小河滋次郎博士の交友関係(明治10年代)
- 2 監獄行政における感化教育の提唱(明治20年代以降)
- 3 石井十次、大原孫三郎との係わり(大正期)
- 4 大阪方面委員制度との係わり(大正期)



【講師プロフィール】

慶應義塾大学名誉教授(法学博士)。わが国における小河博士研究の第一人者。1948年生。横浜市在住。

テーマ **方面委員制度創設から100年**

～小河滋次郎博士の目指した社会～

《パネリスト》 **小野 修三氏** (慶應義塾大学名誉教授)

藤原 千沙氏 (法政大学大原社会問題研究所教授)

石原 欽子氏 (大阪府民生委員児童委員協議会連合会会長)

増田 宗彦氏 (上田市民生委員児童委員協議会会長)

横澤 瑛 (小河滋次郎博士顕彰会会長)

《コーディネーター》 **中村 英三** (公立大学法人長野大学学長・小河滋次郎博士顕彰会副会長)



旧大阪府庁舎



旧大原社会問題研究所



林市蔵大阪府知事(座像/大阪市中央区)



小河滋次郎博士(胸像/止田城跡公園)

主催 小河滋次郎博士顕彰会 協力 大阪府民生委員児童委員協議会連合会、法政大学大原社会問題研究所

後援 上田郷友会、山極勝三郎博士顕彰会、上田市倫理法人会、公立大学法人長野大学、早稲田大学校友会、上田稲門会、上田三田会、法政大学校友会、長野東信法友会、上田明倫会、公益財団法人長野県社会福祉士会、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、毎日新聞社長野支局、東信ジャーナル社、週刊上田新聞社、信州民報新聞社、上田ケーブルビジョン

小河滋次郎博士顕彰会

【問い合わせ先】 TEL 090-3312-0224 (事務局長 山口孝司)

E-mail k-stock390627@ktj.biglobe.ne.jp

Facebook <https://www.facebook.com/ogawashigejiro/>